



神山中学校だより

第52号

令和6年（2024）年8月1日



		8月（葉月（はづき））
日	曜	今月の行事予定等
1	木	全校登校日 SB11:30
2	金	吉野川高校・鳴門高校体験入学
3	土	
4	日	
5	月	徳島商業体験入学
6	火	徳島北・名西高校体験入学
7	水	科技・城東・城北・池田高校体験入学
8	木	小松島西・徳島市立高校体験入学
9	金	城西高校体験入学
10	土	
11	日	山の日
12	月	振替休日
13	火	閉庁日
14	水	閉庁日
15	木	閉庁日
16	金	閉庁日 城南高校体験入学
17	土	
18	日	
19	月	新人学年別卓球大会
20	火	
21	水	全校登校日 SB11:30
22	木	音楽創作活動
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	3年未来塾8:05～10:15
27	火	3年未来塾8:05～10:15
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	



1学期が終わり、夏休みも3分の1が終わりました。この長期休業日中は、自分で計画し決めたことを実行できるチャンスです。部活動では、基礎・基本の見直しや新しい技術の習得。家庭学習では、得意な教科の学習を更に伸ばし、苦手な教科の復習など、自分の力を伸ばすことにチャレンジしてください。3年生にとっては、自分の進路を決めるための大切な時間となります。この機会に、各教科を見直し学力の土台を築いてください。また、休み期間中は各高等学校でオープンスクールが行われます。先輩方がどんな学校生活を送っているのか、入学したつもりで体験してきてください。

今年の夏休み中の登校日は、8月1日(木)・8月21日(水)の2回となります。また、7月22日～26日の間に三者面談、ご協力ありがとうございました。（学校長）

第1回合同学習 7月10日

【〇〇〇〇】
今回の合同学習で「ジェンダーレス」の取り組みはあるが、まだまだ根強かつての風潮が残っていることに気がつきました。これからも、個人の人権を尊重してより良い日本にしたいと思います。

【〇〇〇〇】
今回は、なぜ、男女で差があるのかや、なぜ、体の不自由な人がバスに乗せてもらえなかったかについて特に考えました。国会議員の男女の割合が、昔と比べると女性議員の数も増えてきていますが、まだまだ数が少ない現実や、体の不自由な人が乗り降りしやすいバスが少ないことを知りました。一人一人の人権を尊重することが一番大切だと思いました。

【〇〇〇〇】
あっても良いちがいがあってはいけないちがいなど、自分で考え意見をまとめました。次に、班活動で意見を出し合う中で自分の意見を変えたり、班の中でみんなの意見をひとつにまとめたりできて、良かったです。

【〇〇〇〇】
あってもいいちがいがあってはいけないちがいには、一見こうだろうと思っていても、よく考えると違った考えになり、考え方によっていろいろ違うことに気がつきました。マラソンの男女の違いには考えさせられ、どの意見が正しいのか根拠を持って考えるようにしようと思いました。

【〇〇〇〇】
みんなが自分の意見を発表し、僕自身も発表でき、班長がそれぞれの意見を尊重しながら、意見をまとめることができたので、とても楽しく勉強になる合同学習でした。

【〇〇〇〇】
あってもいいちがいが、あってはいけないちがいの差を考え学ぶことができました。宗教上の理由や個性などで違いがあってもいいもの、差別などあってはいけないものの区別に気をつけようと思いました。特に、国会議員は男性が多い件について深く考えました。昔の風潮などにより、男女差別がおきていると思いこれから、改善していくべきだと思います。

【〇〇〇〇】
班で意見交換をすることで、まだまだ差別や決めつけが多く残っていることを改めて知りました。これから改善できそうなこともあれば、難しいものも多くあり、みんなで話し合って差別のない社会や未来にしたいと思いました。

【〇〇〇〇】
合同学習では、あってもいいちがいが、あってはいけないちがいを学びました。班の中での意見交換や、他の班の意見を比べるとかなり違う意見が出てきたことに驚きました。もっと、意見交換を行いどんな意見が多いのか知りたかったです。

【〇〇〇〇】
「あってもいいちがいが」「あってはいけないちがいが」について、たくさんの意見を聞き、自分の立場で主張することができた。世界には、数え切れないほどの「ちがいが」あって、全てを知ることとはできないけれど、今、目の前にある「あってはいけないちがいが」を無くしていきたいと思った。

【〇〇〇〇】
今の社会問題を改めて知ることができました。今も差別や区別について国がよく考えていることが分かりました。今回みんなで考えた、5つの問題は難しかったです。子どもや大人関係なく真剣に考えて少数の意見でも社会を変えることができると思うので、未来の日本を今からでも考えていきたいです。

【〇〇〇〇】
5つの中でも特に、男女差問題についてよく考えることができたと思います。男女によってマラソンの距離を変えてもいいのではないかという意見も、別の人は、違った意見だったり、同じ意見でも考えていることが違っていたりして、納得させられることが多かったです。みんながよく考えて発表できた合同学習でした。

【〇〇〇〇】
みんなそれぞれ意見が違っていただけれど、班の中で話を聞くと「確かに！」と思うことや、共感できることがたくさんありました。例えば、マラソン大会の話で、自分は始めどちらでもないにしていたけれど、あってもいいちがいの人の意見で「男女の中でも個人差があって男子でも女子でも、得意不得意あるから、あってもいいちがいだ」という意見があって、確かにと思いました。自分の意見と相手の意見があって、違う意見の理由を聞くことで考え方が分かりました。いろいろな意見をしっかりと聞く事の大切さが分かりました。

【〇〇〇〇】
今回の問題でもある5つのことについて班の意見を聞いてみると自分では思いつかないような意見が出され、話し合いの大切さが分かりました。また、神山中学校の中でも今回のように多くの意見が出ているのを見ると差別を無くすためのアイデアは、規模が大きくなるほどたくさん出てくると思うので、その意見をくみ取っていけば、更に良い解決策が出てくるのではないかと思います。

9月行事予定

9月 2日	2学期始業式・避難訓練
9月14日	神中祭（9月15日 予備日）
9月17日	振替休日
9月19日	3年進学説明会
9月21日	神領小運動会（9月22日 予備日）
9月22日	広野地区運動会（9月23日 予備日）
9月24日	振替休日
9月28日	ブロック新人大会（野球）
10月 5日	ブロック新人大会（バレーボール・卓球）

夏休みにぜひ読んで欲しい本

【☆☆☆先生】『かがみの孤城』 辻村深月

学校での居場所をなくし、閉じこもっていた主人公「ころろ」。ある日突然、部屋の鏡が光り始め輝く鏡の向こう側には、城のような不思議な建物が……。そこには「ころろ」と似た境遇の7人が集められていた。『映画ドラえもん のび太の月面探査記』の脚本を書いた小説家です。ということは、子ども心を掴むのがうまいということです。ファンタジーと現実世界がうまく融合していて、ファンタジーが苦手な人でも、楽しんで読めると思います。何気ない生活や、日々の心情がよくわかり、物語に引き込まれます。

【☆☆☆先生】『図書館戦争』 有川 浩

舞台の設定はわりと近い将来。主人公笠原都は関東図書基地所属の図書特殊部隊員。図書館の本を武装した図書防衛隊が守っているという、ちょっとあり得そうもない社会の話。けれど実は、「表現の自由とは」、「知る権利とは」、「政治や新しい法律に無関心な社会の行く末は」という身近で深いテーマが底の部分に隠された作品。とは言いながら、作者自身が語るように、実際にはベタ甘恋愛ストーリーに仕上がっています。読み始めると次が気になる。この作品をきっかけに有川浩にはまる人多数。幸い本校図書館にはシリーズ全四巻が二冊ずつ配架されています。さあ、読み始めよう！

【☆☆☆先生】『時生』 東野圭吾著

「ときお」と読みます。主人公の息子の名前です。難病を患って若くして亡くなるのですが、息をひきとる前に父親の若かりし頃へとタイムリープします。二人の出会った場所は東京浅草の花やしき。人との出会いが人を変えていくことがよくわかる本でした。文庫本で安いです。何回も読んでしまいたくなりました。

【☆☆☆先生】『一瞬の風になれ』 佐藤多佳子

サッカー一家で育ってサッカーで挫折した主人公「新二」は高校入学を機に陸上部に入部。風変わりだが抜群の走る才能を持つ親友や他校のライバルや走ることが何よりも好きな仲間たちとの濃密な高校三年間の話。もちろん恋の話も出てくる王道の青春小説です。陸上を頑張っている神中生にぜひ読んで欲しい小説です。図書室にあります。

【☆☆☆先生】『光秀の定理』 垣根涼介

四つのお椀の一つだけに石が入っていて、それを当てる問題です。自分が選んだ後に空のお椀二つが除けられて、選び直してもよいと言われたら、あなたは どうしますか。

正解は最初とは別のお椀を選ぶべき、なのです。確率の問題です。私にはこの理がわからなくて、もやもやしながら読んでいました。終盤での信長の問いかけにより、やっとすっきりすることができました。図書室にあります。

【☆☆☆先生】『チーズはどこへ消えた?』 スペンサー・ジョンソン

皆さんはこれから先、変化の激しい社会、予測できない未来を生き抜かなければなりません。そういった社会では常に課題が生じ、自分自身で、または他者と協力して課題を解決していく必要があります。そこで大切になってくるのが変化に対応すること、行動をすることです。「チーズはどこへ消えた?」では変化する者、しない者、行動する者、しない者がどういった結果を迎えるかを簡単に理解することができます。また変化すること、行動することの重要性も学ぶことができます。ポイントが書いてあり、